

令和8年度 病院 ERU 要員実地研修（内科・救急医療部門・手術医療部門） 開催要項

1. 目的

日本赤十字社の病院 ERU はこれまでの ICRC 戦傷外科病院や災害時のフィールドホスピタルでの日赤要員の数多くの経験を基に、令和3年度に整備が完了しました。令和6年度には国際赤十字・赤新月社連盟の枠組みのもと、世界保健機関が定める「国際緊急医療チーム（EMT Type2）」の認証を取得しました。今後の病院 ERU の実動展開に向け、担当医療者の人員体制の強化が急務です。本研修は、病院 ERU 発動時に「国際要員（※病院 ERU 派遣限定）」として内科・救急医療や手術医療を提供する上で必要な知識を習得し、登録要員となることを目的とします。

2. 内容（概要）

- ・病院 ERU の紹介（赤十字の国際活動概論、日赤の緊急医療救援 含む）
- ・病院 ERU のセッティング・医療資機材・医薬品（訓練では実際に展開された病院 ERU 見学 含む）
- ・TOMBI（災害用電子カルテ）について
- ・SIMEX（シミュレーション訓練）の見学

3. 開催日時

令和 8 年 10 月 26 日（月）13 時 30 分 ～ 27 日（火）16 時（予定）

4. 開催会場

兵庫県立広域防災センター（兵庫県三木市志染町御坂1-19）

5. 使用言語

日本語 ※資料は英語を含みます

6. 対象者

以下の要件を全て満たす日赤職員

1. 病院 ERU の国際要員として正式に登録される意志があるもの
2. 現在、全国の赤十字施設に勤務していること
3. A 内科・救急医療に関し、3年以上の臨床経験を持つ医師
B 手術医療に関し、3年以上の臨床経験を持つ医師あるいは特定行為研修を修了した看護師*1
4. 事前学習として以下のア～ウの国際赤十字・赤新月社連盟のオンライン教材を修了していること。*2
ア 国際救援・開発協力要員研修 I（WORC: World of Red Cross and Red Crescent）

イ 日本赤十字社緊急病院緊急対応オンライントレーニングコース（ERU）

ウ 安全管理研修Ⅰ（Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 1 - Fundamentals, Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 2 - Personal and Volunteer Security in Emergencies）

5. 本研修終了後3カ月以内に、同上 e ラーニングサイトにて所定のオンライン教材を修了すること。＊3

＊1 厚生労働省が定める特定行為21区分のうち、外科術後管理領域、術中麻酔管理領域、救急領域、外科系基本領域のパッケージのいずれかを修了していること。特定行為研修修了看護師の業務は国内法で認められた範囲内とし、全ての業務を医師との協働で行い安全性を担保することとする。

参考：厚生労働省 HP [特定行為区分とは](#) | 厚生労働省

＊2 国際赤十字・赤新月社連盟の以下 e ラーニングサイトを利用するためには、各自でアカウント登録が必要であること。オンライン教材終了後の検定テストに合格すると発行される修了証を令和8年10月16日（金）までに主催病院担当者あて提出すること。

e ラーニングサイト：<https://ifrc.csod.com/client/ifrc/default.aspx>

＊3 所定のオンライン教材については、研修終了時に別途通知すること。

7. 募集人数

10名程度

8. 申込方法

所属施設の承諾を得たうえで、令和8年8月16日（日）までに、以下の URL または QR コードから各自お申込みください。

・URL:

<https://forms.gle/Fvr8XdxwTefRVer3A>

・QR コード



9. その他

1. ご応募があり次第、随時選考を実施し、参加可否を通知致します。
2. 研修参加にかかる旅費等については、支部・施設所属の職員は国際医療救援事業交付金の対象となり、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の扱いについては、

日本赤十字社旅費規則に基づき支給すること。（令和 7 年 10 月 27 日付 「人企第 142 号「日本赤十字社旅費規則の改正等について」を参照）

問い合わせ先

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

国際医療救援部 担当：越智・白崎

TEL： 052-832-5467（直通）

E-mail： kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp